

『子供のプログラミング的思考と情報活用能力学習の支援活動』（予定） (プログラミングの学習会)

NPO 法人 神戸ロボットクラブ

1 事業が目指すところ

2020年、学校教育にプログラミング教育の導入が始まり、小中学生にパソコン、またはタブレットを一人一台支給している。しかし、すべての子供たちが容易に使いこなせるとは限らないし、フォローする教育機関が少なく、費用の面でも教育を受け入れられない等の問題が発生している。当協会はそのような子供達に費用面、人的にも一人一人寄り添う教育を行うために、学習会を開き、少しでも置き去りや、興味のなくす子供たちをなくし、より理工学に興味を抱くようにしたい。またシニアに対するパソコン学習の一環、居場所づくりを目指している。

2 活動拠点

神戸を中心に、地域福祉センター等でおこなっていましたが、固定的な活動場所として、灘区六甲で定期的な場所を借りて定期的な学習会を行うこととした。



地域のお祭りにての展示会



地域での学習会

3 成果や課題点

子供たちは、プログラミングが良くわかり、学習意欲も出てきている、さらに名前が徐々に知れ渡って学習者も増え、固定的な学習場所を確保したためリピーターも徐々に増えつつあります。ただし、学校以外の学習会では、あいも変わらずパソコンやタブレットは学校の物は使用できないため、当協会で都度取り揃えているため、各機材の設定を都度おこなわなくてはならず、また、旧式の物で、大きく重たいものが多いため、支障をきたしている。

4 今後の展望、成果の活用

神戸市内の小学校にも授業の一環としておこなうようになり、当協会の信頼感が増したのか、今年度は小学校、中学校にても出前授業も行いました。今後公共での学習会を行うことが増え、神戸市の今年よりの『コベカツクラブ』の参加も申し込んでいる。固定的な学習場所の継続、必要機材の充実、講師陣の増員も見込まれるようになり、子供達に対する配慮も深めることにもなり、放課後の学童保護の一翼にもなっていけると思うし、すでにその要請も来ている。一方、シニアの受講生が増え、シニアの生きがい活動にも貢献でき、居場所づくりの一翼になりたく思います。

以上